

ひたち ゼロカーボン シティビジョン

概要版

第3次日立市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)



令和5年3月



日立市

Hitachi City

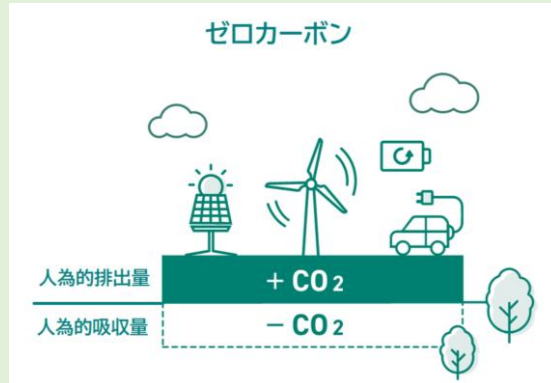
「表紙イメージの詳細はこちらから」

ゼロカーボンの考え方

二酸化炭素(以下「CO₂」という。)をはじめとする温室効果ガスについて、燃料の使用など①「人の活動によって排出された量」から、植林、森林管理など②「人の活動によって吸収された量」を差し引いて、合計を実質的にゼロ(①-②=0)にするという考え方です。



「だいえんとつくん」



(環境省資料を加工して作成)

同じ意味の言葉

- カーボンニュートラル
- 脱炭素
- ネットゼロ

国際的な動向

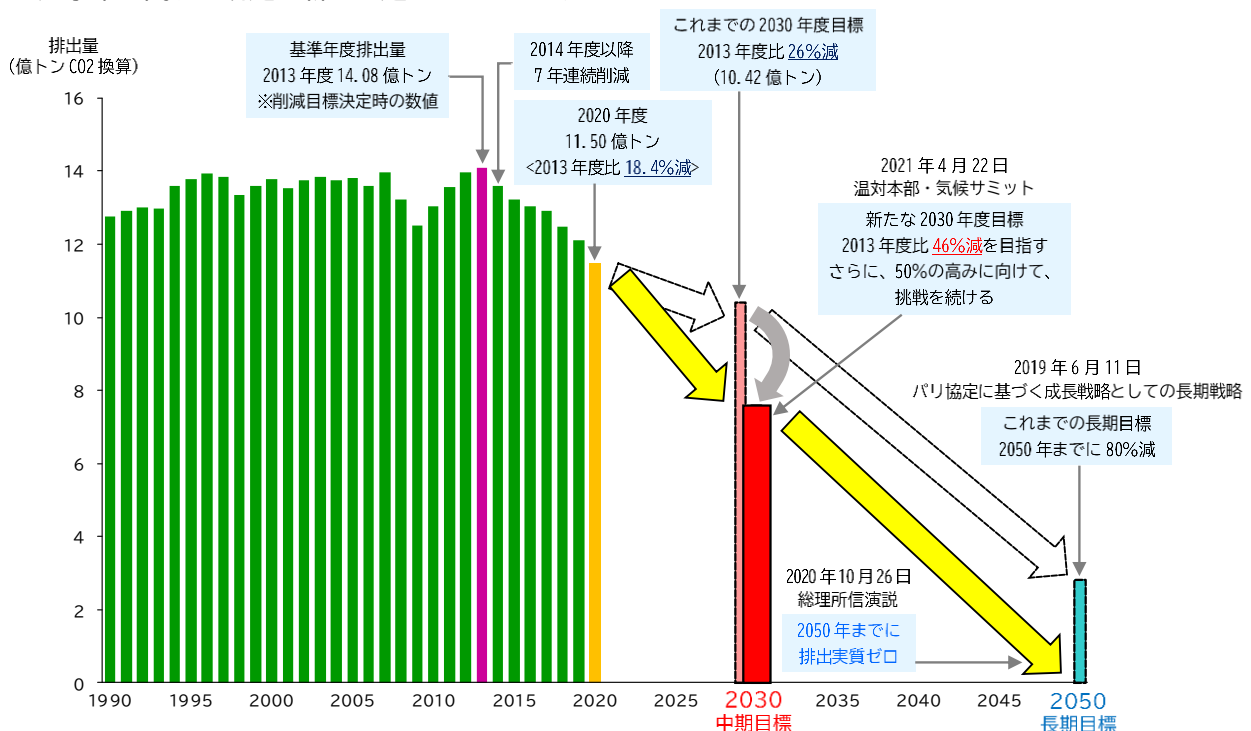
2021年にイギリスで開催されたCOP26において、産業革命以前からの気温上昇を1.5℃以内に抑える努力を継続するという目標の達成に向けて、今世紀半ばでの温室効果ガス実質排出ゼロと、その重要な経過点となる2030年に向けて、野心的な対策を各国に求めることが合意されました。

また、CO₂排出量が多い石炭火力発電所の段階的削減や温室効果ガス削減を進めるための実施指針(パリ協定ルールブック)が完成し、国際取引ルールの大枠も合意されました。

国内の動向

2020年10月、我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。翌2021年4月、地球温暖化対策推進本部において、2030年度の温室効果ガスの削減目標を2013年度比46%削減することとし、さらに、50%の高みに向けて、挑戦を続けていくことが公表されました。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律では、2050年までの脱炭素社会の実現を基本理念として法律に位置づけ、地方公共団体実行計画(区域施策編)に関する施策目標の追加や、地域脱炭素化促進事業に関する規定が新たに追加されました。



日本の温室効果ガス削減の中期目標と長期目標の推移イメージ 引用作成：環境省

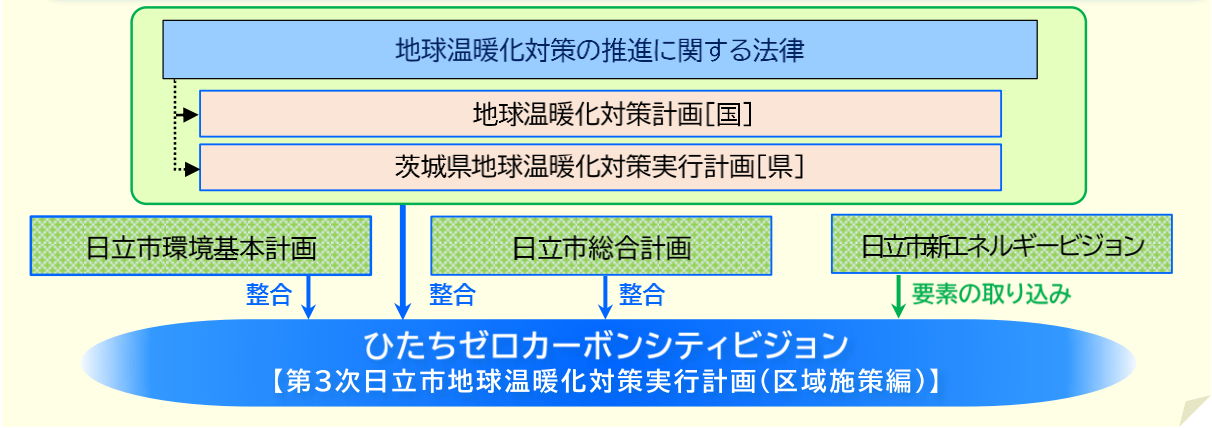
策定の目的

近年、世界的に地球温暖化の影響と考えられる、気候変動や自然災害などの様々な問題が発生しています。また、我が国は、「2050年カーボンニュートラル」を宣言するなど、環境に関する社会情勢は大きく変化しています。このような状況の中、日立市(以下「本市」という。)は、2022年3月に、日立市環境都市宣言に新たな命を吹き込むため、「ゼロカーボンシティひたち」を表明しました。

そして、市民や事業者、行政などが一丸となってゼロカーボンシティひたちの実現を目指すため、新たに「第3次日立市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定することとしました。

なお、ゼロカーボンシティを目指す表明をした本市独自の名称とするため、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を、「ひたちゼロカーボンシティビジョン」(以下「本ビジョン」という。)とします。

本ビジョンは、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく地方公共団体実行計画であり、地球温暖化防止に関する諸計画や本市の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出削減等を総合的かつ計画的に進めるために策定するものです。



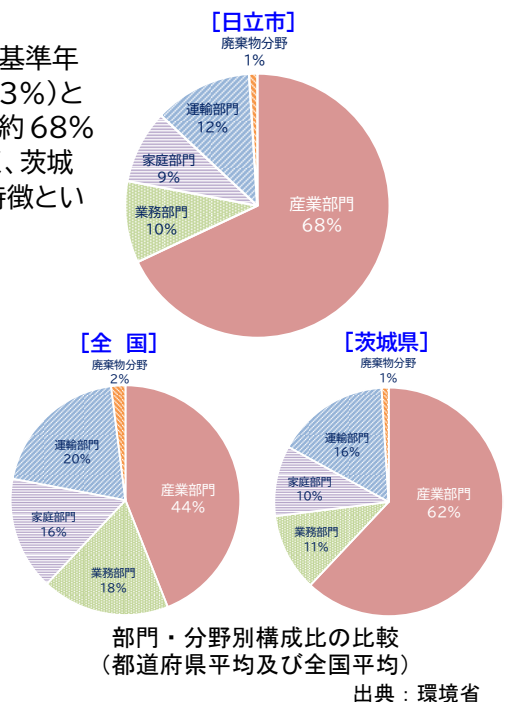
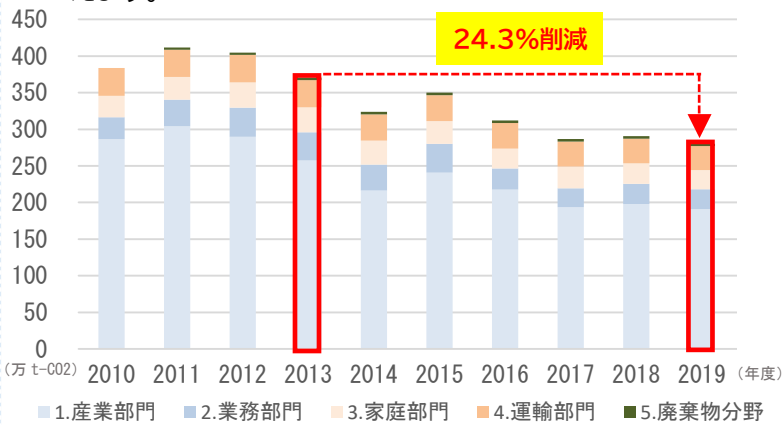
計画期間と対象とする温室効果ガス

計画期間は2023(令和5)年度から2030(令和12)年度までの8年間とします。

対象とする温室効果ガス		主な排出活動
CO2	エネルギー起源	燃料の使用、他人から供給された電気の使用、他人から供給された熱の使用
	非エネルギー起源	廃棄物(一般廃棄物)の焼却処分

本市のCO2排出状況

2019年度の本市のCO2排出量は280.5万t-CO2で、基準年度である2013年度と比較して89.9万t-CO2削減(▲24.3%)となっています。また部門・分野別構成比では、産業部門が全体の約68%を占めており、全国平均(44%)と比べても非常に割合が大きく、茨城県の数値(62%)も上回っており、産業が盛んな本市の大きな特徴といえます。



3 目標・基本方針

★長期目標(2050年)★

本市全体のCO2 排出量の実質ゼロを目指す

★中期目標(2030年度)★

本市全体のCO2 排出量 46%削減(2013年度比)

★部門・分野別目標(2030年度)★

単位：万t-CO2

部門・分野	削減目標	2030年度目標値
産業部門	▲38%以上	159.6以下
業務部門	▲51%以上	18.9以下
家庭部門	▲66%以上	11.5以下
運輸部門	▲35%以上	24.1以下
廃棄物分野	▲14%以上	3.0以下
CO2 総排出量	▲46%	200.0

基本方針 ゼロカーボンに向けた取組の方向性

ゼロカーボン達成するためには、CO2 自体を“へらす”ことと、CO2 を出さない工夫を“ふやす”ことが大切です。本ビジョンでは、“へらす”と“ふやす”に注目して市民、事業者、大学、行政それぞれの取組を掲載します。

「CO2 をへらす」

～今あるCO2の発生をへらします～

○私たちが使うエネルギーから発生するCO2 をへらします。
○ごみを燃やすときに発生するCO2 をへらします。

「工夫をふやす」

～CO2 を出さない工夫をふやします～

○再生可能エネルギーの導入など、CO2 を出さない工夫をふやします。
○資源のリサイクルなど、CO2 を出さない工夫をふやします。



CO2の排出削減には、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で取組を行うとともに、更に協働して取り組むことが必要不可欠です。本ビジョンでは、その取組の輪を大学まで広げ、学術研究の観点を加えることで、更なる全市民的な取組の推進を目指します。

脱炭素のまちづくりの推進 (第4次日立市環境基本計画の行動方針)

CO2をへらす

工夫をふやす

各主体のテーマ

市民

家計にやさしい
エコライフをはじめよう

事業者

省エネで「コスト削減」と
「競争力向上」をめざそう

大学

産業界や地域社会との
連携を強化し
省エネ技術などを
加速させよう

行政

行政が率先して
CO2の削減に取り組み、
その輪を広げよう

市民

創エネ×蓄エネで
スマートライフに
挑戦しよう

事業者

創エネでエネルギーを
安定確保し、
経営力強化につなげよう

大学

知の拠点から
研究成果を発信し、
イノベーションを
けん引しよう

行政

公共施設に太陽光
発電設備を導入し、
再生エネ普及を後押ししよう

4 取組

私たちが使うエネルギーから発生するCO2をへらします

- ライフスタイルを朝型に変えて、夜の電力消費を抑えます
- 無理のない範囲で節電や節水に取り組みます
- 照明器具をLEDへ交換します
- 公共交通機関や自転車を積極的に利用します
- エネルギーの使用を少なくする高効率の機器に買い替えます

- 節電や節水に積極的に取り組みます
- 通勤では、公共交通機関や自転車の利用を推奨します
- 運送で使用するガソリンや軽油等の化石燃料由来エネルギーを削減します
- CO2の見える化を行い、削減に取り組みます **コンソ**
- 脱炭素関連(省エネ)設備を導入します **コンソ**

- 節電や節水に取り組みます
- 通勤通学には公共交通機関や自転車の利用を推奨します
- キャンパス生活と日常生活において、快適性、利便性を向上した脱炭素型のライフスタイルへの転換を促します
- 企業や行政等との省エネに役立つ共同研究や実証実験を通して、CO2削減への取組を進めます **ひたち**

- 市民向けに脱炭素に役立つ行動の啓発を行います
- 市民向けにZEHの導入支援制度を検討します **新エネ**
- 中小企業への脱炭素化の支援により、CO2削減へ取り組みます **コンソ**
- 公共の施設や遊休地へ計画的に再生可能エネルギーの導入を図るとともに、効率的な運用を検討します **ひたち**

再生エネの導入など、CO2を出さない工夫をふやします

- 再生可能エネルギー由来の電力を選択し購入します
- 太陽光発電や蓄電システムを導入して、エネルギーの自給自足を目指します **新エネ**
- コージェネレーションシステムを導入して、電気と熱の地産地消を目指します **新エネ**
- V2Hを導入して、電気自動車と家庭の電気を共有します **新エネ**

- 再生可能エネルギー由来の電力購入を推進します
- エコアクション21などの環境経営に取り組みます
- 脱炭素に役立つ製品を開発します **ひたち**
- 脱炭素関連(創エネ)設備を導入します **コンソ**
- エネルギー使用を適切に管理する仕組みづくりに取り組みます **コンソ**

- 脱炭素社会実現に向けた研究を中心研究の一つにします
- 脱炭素に役立つ研究成果を社会に還元します
- 企業や行政等と脱炭素に役立つ共同研究等を検討します **ひたち**
- 低炭素化技術、エネルギー効率の向上等の研究活動を推進します

- 環境イベントの実施や教育活動、広報活動の充実を図ります **ひたち**
- 市民向けに脱炭素化促進機器の導入支援を行います **新エネ**
- 中小企業の脱炭素見える化システムの導入を支援します **コンソ**
- カーボンニュートラルポート形成推進事業を推進します **CNP**
- 公共施設等の再生可能エネルギー設備で発電した電力は、施設間で融通するなど、面的な利用を検討します

ひたち :本市の特徴をいかした取組
コンソ :中小企業コンソーシアムと連携した取組

ごみを燃やすときに発生するCO2をへらします

- 食品ロスをへらします
- ごみを適正に分別し、ごみの発生をへらします **ひたち**
- 4R[※]に取り組み、ごみの発生をへらします **ひたち**
- 生ごみ処理機器の活用を検討します
- ※4R:断る、へらす、再利用、再生利用の4つ言葉の英語の頭文字をとったごみをへらすための取組

- 事業系ごみの排出をへらします
- 飲食店等では食品ロスをへらします

- 食堂等では食品ロスをへらします
- ごみを適正に分別し、ごみの発生をへらします **ひたち**
- 4Rに取り組み、ごみの発生をへらします **ひたち**

- CO2が発生しにくい指定ごみ処理袋の素材の導入を検討します **ひたち**
- ごみ等収集システムを再構築します **ひたち**
- 生ごみ処理機器設置奨励金制度の支援の充実に取り組みます **ひたち**

資源のリサイクルなど、CO2を出さない工夫をふやします

- ごみを適正に分別し、資源の循環を推進します
- 4Rに取り組み、資源の循環を推進します **ひたち**
- 再構築されるごみ等収集システムに適切に対応し、資源の循環を推進します **ひたち**

- ごみを適正に分別し、資源の循環を推進します
- 4Rに取り組み、資源の循環を推進します **ひたち**

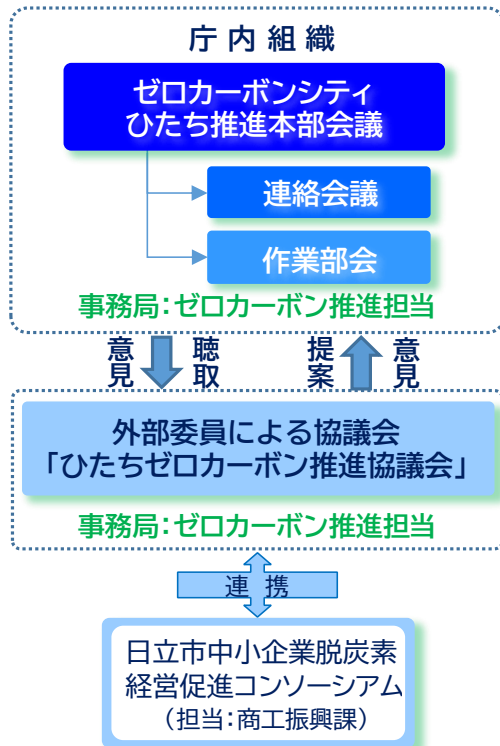
- ごみを適正に分別し、資源の循環を推進します
- 4Rに取り組み、資源の循環を推進します **ひたち**

- 4Rやごみの減量化を促進するための啓発活動を推進します **ひたち**

新エネ :新エネビジョンに位置付けられた取組
CNP :カーボンニュートラルポート形成に関する取組

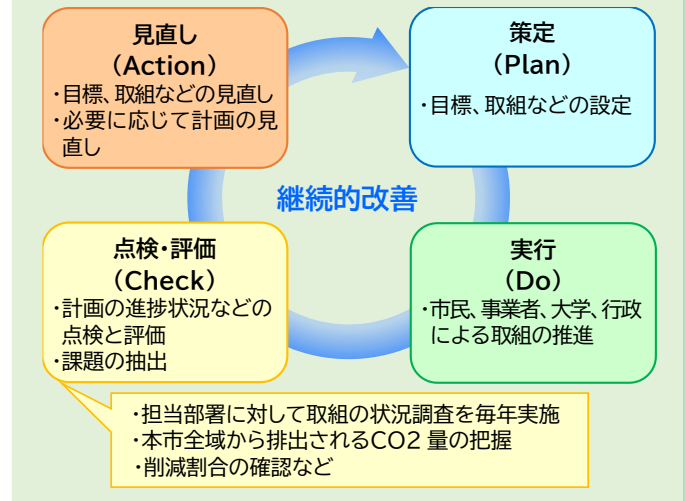
推進体制

本ビジョンの推進にあたっては、庁内関係課所はもとより、市民、事業者、大学、関係機関などとの連携・協働により、総合的な推進を図る必要があります。このため、下図に示すような推進体制により、ビジョンの推進を図ります。



進行管理体制

ビジョンを確実に実行・推進することにより、大きな効果が得られるよう努めます。このため、ビジョンの進捗状況について定期的に点検・評価を行い、その結果を取組の見直しなどにフィードバックさせ、継続的な改善を図るものとします。



- ゼロカーボンシティひたち推進本部会議
脱炭素を積極的に推進するため、分野横断的な推進体制として設置された組織
- ひたちゼロカーボン推進協議会
脱炭素の推進に関する取組事項等に関して意見提言、助言など行うための組織
- 日立市中小企業脱炭素経営促進コンソーシアム
市内中小企業が脱炭素に対応するための施策等を検討・実施する産学官の連携体

ゼロカーボンシティひたち 表明文
(令和4年3月2日)

ゼロカーボンシティひたち

～2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化の進行による影響と考えられる気候変動や自然災害など、様々な問題が顕在化しています。

日本で唯一、行政が運営する気象予報機関である、日立市気象相談所の観測データには、市内においても「桜の開花時期が早まっている」ことや「真夏日の増加」など、私たちの生活に直接的に影響を及ぼすような変化が表れています。地球温暖化がそのまま進行すると、さらなる自然災害の発生、深刻な食糧不足や生物多様性の損失など、私たちの子孫が損害を被る状況になりかねません。

国は、国内外に向けて「2050年カーボンニュートラル」を宣言しており、温室効果ガスの排出量を削減していくことは世界的な目標となっています。この喫緊の課題に対し、私たちは国際社会の一員として、一人ひとりが当事者としての危機感を持ち、今すぐ温室効果ガスの排出量削減に向け行動しなければなりません。

日立市はかつて、鉱山の煙害や河川の汚濁など、深刻な公害問題に直面した時代がありました。市民、企業、行政が協力し、問題を解決してきた誇らしい歴史を持っています。また、2005年には、この先人の偉業に学び、協力して環境問題に取り組み、「いのち」の共生するこの環境を未来に引き継ぐことの決意表明として、「環境都市・日立」を宣言し、今日まで行動してきました。

今こそ、この環境都市宣言に新たな命を吹き込むために、2050年までに「温室効果ガス排出量実質ゼロ」に挑戦することをここに表明し、市民、企業の皆様とともに総力を挙げて「ゼロカーボンシティ」の実現を目指してまいります。

令和4年3月2日

日立市長 小川 春樹



ひたちゼロカーボンシティビジョン(本編)

<https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/007/011/p111241.html>



脱炭素に役立つ情報

★日立市公式 YouTube

(<https://www.youtube.com/watch?v=0ZyUg-t9LI0>)



★環境省「ゼロカーボンアクション 30」

(<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>)



★資源エネルギー庁「省エネポータルサイト (家庭でできる省エネ)」

(https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html#general-section)



★環境省「事業者のためのCO2削減対策navi」

(<https://shift.env.go.jp/navi/measure>)

